

# 健康・医療分野への資金供給の取り組み

平成26年10月30日

独立行政法人中小企業基盤整備機構

理事長 高田 坦史

# 中小機構の概要

- 設立：平成16年7月1日
- 役職員：理事長 たかだ ひろし 高田坦史  
(役員13名、職員784名)
- 主要拠点：
  - ・本部(東京)
  - ・地域本部(9地域本部+沖縄事務所)
  - ・中小企業大学校(9校)

## 中小機構の支援機能

～創業・新事業展開から成長、再生まで総合的に中小企業をサポート～

### 創業・新事業展開を支援

- 新たなビジネスをアイデア段階から事業化段階まで支援
  - ・中小企業者と農林漁業者の連携に対する支援
  - ・地域資源を活かした取組みへの支援
  - ・異分野中小企業の連携を支援
  - ・販路開拓を支援
- 起業支援ファンドへの出資  
(設立5年未満の中小企業に投資)
- インキュベーション施設における事業化支援

### 成長・発展を支援

- 中小企業の経営課題に対し専門家が助言(登録専門家数 4,200人)
- ビジネスマッチング機会の提供  
(国内、海外)
- 中小企業の経営実態に即した戦略策定等の研修(中小企業大学校(全国9校))
- 中小企業成長支援ファンドへの出資  
(新たな成長・発展をめざす中小企業に投資)
- 健康・医療ファンドへの出資
- 地域経済活性化支援  
(高度化事業、融資残高6,500億円)

### セーフティネットを支援

- 小規模企業共済  
(経営者の退職金制度、在籍者121万人)
- 中小企業倒産防止共済  
(取引先の倒産等から連鎖倒産を防止、在籍者31万社)
- 全国の再生支援協議会の活動を支援(再生支援協議会全国本部)
- 中小企業再生ファンドへの出資  
(再生に取り組む中小企業に投資)
- 災害対策  
(災害時における中小企業の復興支援)

# 中小機構のファンド出資を通じた投資実績① (平成26年3月末現在)

中小機構は、国の成長戦略や中小企業政策に基づき、平成10年度より民間投資会社の組成するファンドへのLP出資を通じて、中小企業の創業、新事業展開、再生、震災復興に資するリスクマネーの供給を推進

## ■ 中小機構のファンド投資実績(3種類のファンド合計)

平成10年度～25年度における実績

ファンド数	投資先企業数	投資累計金額	IPO企業数
203	2, 559社 *	2, 895億円	139社

\* ファンド種類ごとの重複投資を除く実社数

(ファンド別内訳)

### 1. 起業支援ファンド

創業又はアーリーステージの中小企業を支援するファンドへの出資

### 2. 中小企業成長支援ファンド

中小企業の新事業展開、事業再編等を支援するファンドへの出資

### 3. 中小企業再生ファンド(産業復興機構ファンド含む)

中小企業の再生や震災復興を支援するファンドへの出資

# 中小機構のファンド出資を通じた投資実績② (平成26年3月末現在)

## ■起業支援ファンド及び中小企業成長支援ファンドの投資実績

平成10年度～25年度における累計実績

ファンド数	投資先企業数	投資累計金額	IPO企業数
155	2,098社	2,211億円	139社

※ 過去5年間(H21～25年度)の平均で、国内新興市場全体のIPO企業147社のうち約3割(41社)が機構出資ファンドの投資先であり、新興市場の下支えに貢献

(主なIPO企業)

ユーグレナ、リプロセル、オンコリスバイオフーマ、ペプチドリーム、メドレックス、UMNファーマ、ジーンテクノサイエンス ほか

## ■機構出資ファンド投資先のIPO事例

ユーグレナ ミドリムシを活用した機能性食品、バイオ燃料等の研究開発  
平成24年12月東証マザーズ上場

Japan Venture Awards 2012 経済産業大臣賞受賞

リプロセル ES細胞/iPS細胞研究試薬・細胞製品、臨床検査受託  
平成25年6月JASDAQ上場

## [ファンド出資活用事例1]

## ～(株)ユーグレナ～

### ■投資先企業の概要

#### 【事業内容】

- ✓ 微細藻ユーグレナ(ミドリムシ)を活用した機能性食品の製造・販売(ヘルスケア事業)
- ✓ バイオ燃料・環境技術の研究開発(エネルギー・環境事業)等

※ Japan Venture Awards 2012「経済産業大臣賞」受賞

#### 【設立】

平成17年8月

#### 【資本金】

9億1千9百万円(平成25年9月期)



### ■ファンドの概要

【ファンド名】インスパイア・テクノロジー・イノベーション・  
ファンド投資事業有限責任組合

【設立】平成18年10月

【ファンド総額】26.4億円(うち中小機構は13.2億円)

【ファンド期間】10年

【運営者(GP)】(株)インスパイア・インベストメント

#### 【ファンドの特徴】

日本国内のものづくり企業及び製造業の経営全般のサポートを志向したファンド

### ■現在の状況・成果

- ✓ H23年9月期決算にて売上高10億円を突破。
- ✓ H24年12月東証マザーズに株式上場。
- ✓ 今後ヘルスケア事業は海外市場への進出、エネルギー・環境事業は石油・プラント企業などと共同開発し、「ミドリムシバイオジェット燃料」の事業化を目指す。

	投資時(H21.12)	直近(H25.9期)
売上高	2億2千万円	20億9千万円
当期純利益	▲27千万円	4億8千万円
従業員	15人	75人

### ■投資ファンドからの支援

- ✓ 初回投資：平成21年12月（株式投資）

#### 【投資後のハンズオン支援】

- ✓ 社外取締役を派遣し、内部管理体制の構築等を支援
- ✓ 大手事業会社・共同研究企業等の紹介により資本提携が成立、資本力・信用力等が大幅に向上
- ✓ 販路の紹介により売上拡大に貢献

## [ファンド出資活用事例2]

## ～(株)リプロセル～

### ■投資先企業の概要

#### 【事業内容】

- ✓ ES細胞/iPS細胞の研究試薬・細胞製品
- ✓ 骨髄移植・臓器移植に特化した臨床検査受託 等

#### 【特徴】

- ✓ 東大・京大発のベンチャー企業としてスタートし、平成21年に世界で初めてヒトiPS細胞製品の事業化に成功したiPS細胞ビジネスの先駆者

#### 【設立】

平成15年2月

#### 【資本金】

1億2千5百万円(平成25年3月期)



### ■ファンドの概要

【ファンド名】 トランスサイエンス式ビー号投資事業有限責任組合

【設立】 平成16年3月

【ファンド総額】 15.1億円(うち中小機構は4.7億円)

【ファンド期間】 9年

【運営者(GP)】 SBITランスサイエンス(株)  
(旧:(株)トランスサイエンス)

#### 【ファンドの特徴】

健康・医療分野に特化した投資育成を特徴としたファンド

### ■現在の状況・成果

- ✓ 平成25年3月期決算にて売上高4.2億円を達成
- ✓ 平成25年6月JASDAQに株式上場
- ✓ 今後は、M&Aにより子会社化した米国、欧州のグループ各社のネットワークを活かし、世界的な販路拡大と相互の技術シナジーによるiPS細胞・再生医療分野の新製品・技術の創出をめざす。

	投資時(H16.3)	直近(H25.3期)
売上高	0円	420百万円
当期純利益	▲8.7万円	5.8百万円
従業員	0人	27人

### ■投資ファンド及び機構からの支援

- ✓ 初回投資：平成16年3月（株式投資）  
※GPは同社を創業時から支援
- 【投資後のハンズオン支援】
- ✓ 複数の製薬企業を紹介するなど販路開拓を支援
- ✓ 新規事業立ち上げに豊富な経験を有する経営者の紹介
- ✓ 中小機構の専門家派遣事業によりブランド構築から海外展開まで幅広い支援を実施

# 健康・医療事業分野投資促進出資事業の概要 (健康・医療ファンドへの出資事業)

■「好循環実現のための経済対策」(平成25年12月5日閣議決定)及び平成25年度補正予算(一般会計出資金10億円)を受け、健康・医療分野への資金供給の強化を図るため、中小企業成長支援ファンドの制度を活用し実施

■平成26年3月31日より募集を開始

## <主な要件>

項目		要件
出資対象ファンド		健康・医療分野の事業に取り組むことにより新たな成長・発展を目指す中小企業者に対する投資事業を行う組合
ファンドの形態		投資事業有限責任組合 (中小機構は有限責任組合員として出資)
ファンドの 投資対象	対象分野	投資総額の70%以上は、 健康・医療分野の事業に取り組む事業者
	中小企業 投資割合	投資総額の35%~70%以上 (中小機構の出資比率×1.4倍かつ35%以上)
中小機構の出資限度額		ファンド総額の1/2以内

# 健康・医療ファンドの有力候補（今後の見込み）

## ■ Aファンド

- ・ LP候補は、金融機関、事業会社、海外投資家等
- ・ 創薬分野を重点領域とし、ハンズオン支援を積極的に実施
- ・ アジアの現地企業との提携等によりアジア展開支援が可能

## ■ Bファンド

- ・ LP候補は、金融機関、事業会社等
- ・ 投資対象は、再生医療、医療関連機器および医療関連サービス、予防・健康管理サービス等を行うベンチャー企業

## ■ Cファンド

- ・ LP候補は、金融機関、事業会社等
- ・ 再生医療分野のベンチャー企業に対する事業化支援を行うファンド

## ■ Dファンド

- ・ LP候補は、金融機関、事業会社等
- ・ 創薬を始めとして再生医療や医療関連機器まで幅広い投資を想定（ミドル～レイターステージに重点）

# 健康・医療ファンドの今後の取り組み方針

日本再興戦略改訂2014 - 未来への挑戦 - (平成26年6月24日) (抄)

## ■ 地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

「中堅・中小企業等の成長分野である健康・医療分野への進出を促進するため、中小企業基盤整備機構のファンド出資事業の投資対象の条件を拡大する。」

### (利用促進のための制度改善の検討)

1. 中小企業の規模の定義の枠を超えた企業について、枠を超えてからの期間などを考慮し、当該企業に対する投資が対象となるよう条件を緩和する。
2. 優れた実績のファンドマネージャーが親ファンドとなり、子ファンドを指導・育成するファンドオブファンズに対する出資要件を改善する。
3. 民間資金に対する呼び水効果をより一層発揮するために、民間出資者に先立っての機構の出資コミットを可能とする。